

葬儀

考えよう、お葬式のこと

耳にするけどよく分からない。

「〇〇葬」の違い、あなたは分かりますか？

テレビや新聞の特集、葬祭業者の広告などで見かける、色々な「〇〇葬」という言葉。何となくイメージはできるけど、実際にどんな違いがあるのかよく分からないという方も多いのでは？今回はその中でも家族葬、自由葬、直葬、自然葬について取り上げます。



家族葬 かぞくそう

家族葬とは...
家族や親しい人など故人と直接縁のあった人を中心に故人を送る葬送方法

現代のお葬式は、慌し過ぎて故人とお別れする時間が充分にとりにくいといわれています。家族葬は比較的規模の小さなお葬式が多く、会葬者に気を遣うことなく、ゆっくりとお別れができます。

◆家族葬＝安い？◆

家族葬は参列者も少なく費用も安いとみなさん考えがちです。確かに、変動費と呼ばれる、返礼品、礼状、料理などは参列者の人数に比例して費用がかかり、参列者が少ない家族葬の方が変動費は安くなります。

一方、祭壇や棺、骨壺など固定費と呼ばれるものは参列者の人数に関わらず必要なもので、グレードも低いものから高いものまでさまざま。葬儀の総費用は変動費と固定費の合計なので、家族葬の場合、変動費は安いかもしれませんが、もし固定費でグレードの高い商品ばかりを選べると「家族葬＝安い」とならないので、ご注意ください。



◆家族葬は家族だけしかいけないの？◆

家族葬と聞くと、家族や親族だけが参列すると思っっている人も多いようです。しかし、参列者が家族や親族だけというよりも、故人と直接的な縁のあった人が参列するのが家族葬です。一般のお葬式では故人と直接の縁はなくても、遺族の勤務先や取引先など、故人と直接の縁がない人も参列します。すると遺族は、参列者への気遣いもしなくてはなりません。家族葬は故人と直接縁のあった人だけで送ることで、故人との最期の別れをゆっくりと行えるというものです。

直葬 ちよくそう

直葬とは...
葬儀をせず、火葬のみで送る方法。宗教儀式や告別式などのセレモニーを行わない

通常のお葬式と直葬の違い

通常のお葬式
直葬
亡くなる→通夜→葬儀・告別式→火葬
亡くなる → 火葬

通常のお葬式と同様に直葬に必要なもの

亡くなった場所から搬送する寝台車、棺、ドライアイス、死亡診断書の提出、火葬埋葬許可書の取得、遺体を24時間安置する場所、火葬場へ搬送する霊柩車、火葬

➡ これらを自分で行うのは大変なので、直葬も葬儀社に依頼するケースがほとんど。直葬が通常のお葬式と比べて安いといっても、最低限の費用は発生します。

◆メリット◆

- ・ 信仰心があまりない人にとっては、宗教儀式を行わないので気を遣わずに済む
- ・ 故人との別れに専念できる
- ・ 残された家族にとって精神的にも金銭的にも負担が少ない
- ・ 通常のお葬式よりも簡単に最低限の費用でできる

◆デメリット◆

- ・ 宗教儀式のない直葬をして、墓への納骨を寺から拒否されてしまうこともある
- ・ 宗教儀式を行わないことについて、親族の理解を事前に得るのが難しいことも
- ・ 火葬に立ち会えなかった親族や知人は、最期の別れができず気持ちの整理がつかない

費用が安くて簡単にできるからと安易に直葬を行って、後悔したというケースもあります。直葬を選ぶときは、後悔しないために葬儀社に充分説明を聞いて、メリットやデメリットを理解した上で判断しましょう。

自由葬 じゆうそう

自由葬とは...
これまでの葬儀の形式(仏式、キリスト教式、神式など)にこだわらず、自由な発想で行う葬儀。無宗教で行われる場合が多い。

自由葬の中でも、奏者による生演奏など、音楽を葬儀の中で披露する「音楽葬」は広く知られています。そのほかにも、参列者全員で故人が好きだった歌を歌ったり、孫が亡くなった祖父のために参列者の前で歌を披露したり、故人が生前に録音していた歌や演奏を告別式で流すなど、アイデアや希望次第でどのような形にすることができます。

ポイント 自由葬は形式が決まっていない分、本人や家族の希望をどれだけ反映し、思いを具体化できるかという葬儀社の提案力が必要です。事前相談などで自分に合った葬儀社を選ぶことが大切です。



自然葬 しぜんそう

自然葬とは...
火葬を済ませた遺骨を、墓石や納骨堂に埋蔵せず、自然に還そうという埋葬の方法。遺骨を直接墓地などに埋葬する方法や、海や山など墓地以外の場所に散骨する方法などがあります。

日本での自然葬は海洋への散骨や陸地での樹木葬が一般的

◆散骨をする上で大切なこと◆

墓地および埋葬に関する法律というものが、その中で焼骨(人間の遺骨)は墓地や納骨堂以外に埋蔵してはならないと定められています。散骨を希望される場合は、業界でさまざまな自主基準が定められていますので、勝手に行わず、必ず葬儀社などに事前に相談してください。

珍しいタイプの自然葬

熊本県内には南阿蘇に「つつじ霊園自然葬の里」という場所があります。ここは墓地ですが、阿蘇くじゅう国立公園特別地域内にあるため墓を建てません。墓地であるため、購入した区画に穴を掘って遺骨を埋めることができます。最初に利用料金が必要ですが、管理費や年会費などその後の費用はかかりません。

熊本初

直葬専用ルームがオープン

宗教儀式を行わない、シンプルなお別れのかたちです。かたちは違っても、心を込めてお別れしたいというご家族の「想い」に応えました。



直葬専用ルームプラン

熊本市民の方
157,500円

熊本市民でない方は189,000円

- 【基本セット】 寝棺、お骨壺、寝台車、霊柩車、ドライアイス、役所手続き、火葬料、専用ルーム使用料など
- 【オプション】 ラストメーク 31,500円 ラストフラワー 10,500円 卓上遺影写真 10,500円

熊本初

お葬式と永代供養のセット

お墓を建てずに埋葬できます。阿蘇五岳が一望できる自然豊かなとても静かな場所です。

くまもと県民葬祭のお葬式プラン **PLUS 40万円** で

33回忌までの永代供養(自然葬の里 墓地一区画)

例えば 直葬専用ルームのお葬式プランを利用の場合は
⇒15万7500円+40万円=合計金額55万7500円

こんなお悩みの方におすすめです

- ◆お葬式はシンプルがいいけど、供養はしっかりとしてほしい
- ◆身内は遠方に住んでいて、墓参りで負担をかけたくない
- ◆身寄りがないので、墓に入っても守ってくれる人がいない

